



令和 2 年 1 月 24 日
総合政策局国際政策課(グローバル戦略)
総合政策局海外プロジェクト推進課
土地・建設産業局総務課国際室

御法川国土交通副大臣のケニア共和国及び エチオピア連邦民主共和国出張の結果概要 ～「第2回 日・エチオピア官民インフラ会議」の開催等～

御法川国土交通副大臣は、我が国の「質の高いインフラ投資」推進のため、1月7日から12日まで、ケニア共和国及びエチオピア連邦民主共和国を訪問しました。

ケニア共和国 （会談等の概要は別紙1を参照）

ケニア共和国においては、オブレ運輸・インフラ・住宅・都市開発・公共事業副長官やヤタニ財務・計画長官代行をはじめとする先方政府閣僚との会談を通じ、ケニアにおける PPP を含む「質の高いインフラ投資」推進に向けて貢献していくことを表明しました。

エチオピア連邦民主共和国 （会議等の概要は別紙2を参照）

御法川国土交通副大臣は、「第2回 日・エチオピア官民インフラ会議」にて、エチオピアにおける「質の高いインフラ整備」へ向けた協力に関する覚書を締結。また、ダグマウイット運輸大臣ほか運輸国务大臣2名及びタゼル都市開発・建設国务大臣をはじめとする先方政府閣僚との会談を通じ、エチオピアと日本のインフラ分野におけるPPPを含めた包括的な連携を強化していくことで両国合意しました。

官民インフラ会議の様子



<問い合わせ先>

国土交通省 総合政策局 国際政策課(グローバル戦略) 藤田、神長、斎藤

(内線25205、25216、25226)

TEL 03-5253-8111、03-5253-8314(直通)、FAX 03-5253-1562

別紙 1

1. ケニア共和国政府要人とのバイ会談(1月8日)

御法川国土交通副大臣は、オブレ運輸・インフラ・住宅・都市開発・公共事業副長官やヤタニ財務・計画長官代行をはじめとする先方政府閣僚との会談を通じ、ケニアにおける PPP を含む「質の高いインフラ投資」推進に向けて貢献していくことを表明しました。

運輸・インフラ・住宅・都市開発・公共事業省へは TICAD7 への参加について感謝の意を示し、日本企業が参画している「モンバサ港周辺道路開発計画」パッケージ2への円滑な事業推進に向けた協力要請をしました。

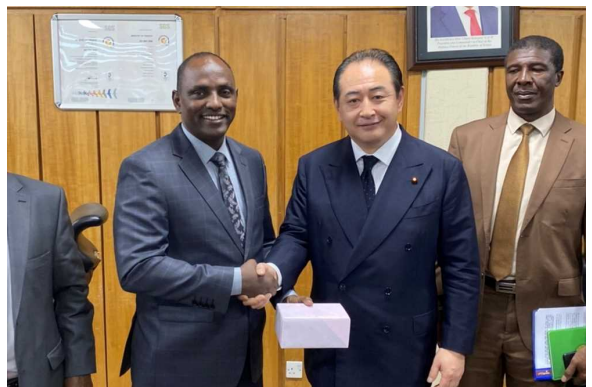
オブレ副長官からは、日本からの継続的な技術支援やハード面でのモンバサへの多大な支援について感謝を述べられました。

財務省へはアフリカ・インフラ協議会(JAIDA)の概要等を説明し、ヤタニ財務・計画長官代行からは、ケニアの PPP 案件について特に技術力の観点から日本企業の参画を期待する旨述べられました。

また、本会談には清水建設宮本会長(JAIDA 会長)、フジタ奥村社長(JAIDA 代表)、他 JAIDA 会員企業数社も参加し企業アピールも実施することができました。



オブレ運輸・インフラ・住宅・都市開発・公共事業副長官とのバイ会談



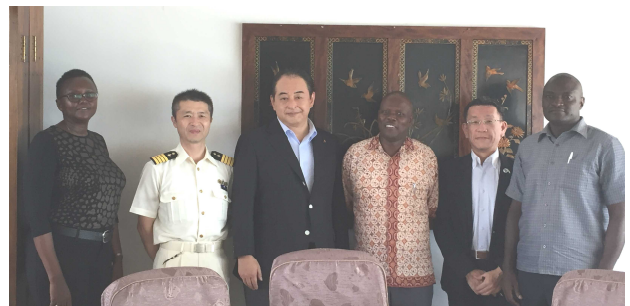
ヤタニ財務・計画長官代行とのバイ会談

2. モンバサ視察等(1月9日)

御法川国土交通副大臣は、ナイロビ市内の ODA 案件及び日本の協力案件が展開しているモンバサ港及びその周辺のインフラ関連施設・現場を JAIDA 会員企業とともに視察しました。また、ケニア沿岸警備隊のナイショ長官との会談も行いました。



モンバサ港コントロールタワーからモンバサ地域全景を視察



ナイショ沿岸警備隊長官との会談



モンバサ 経済特区(SEZ) 予定地を JAIDA 会員企業とともに視察

1. 第2回 日・エチオピア官民インフラ会議(1月10日)

- (1) 日時：令和2年1月10日(金)
- (2) 場所：エチオピア連邦民主共和国 アディスアベバ市内
ヒルトンホテル アディスアベバ
- (3) 主催：(日本側)国土交通省
(エチオピア側)運輸省、都市開発・建設省
- (4) 参加者：官民合計で約160名
(日本側の主な出席者)
国土交通省(御法川国土交通副大臣)、
在エチオピア大使館(松永大使)、
清水建設 宮本会長(JAIDA 会長)、フジタ 奥村社長(JAIDA 代表)を含む日本企業
(JAIDA 会員の建設、コンサル、商社、メーカー等 24 社) 他
(エチオピア側の主な出席者)
ダグマウィット・モゲス運輸大臣、アウォル・ワガリス運輸国務大臣、
ヒウオット・モシサ運輸国務大臣、タゼル・ゲブラグザビエル都市開発・建設国務大臣
- (5) 概要:

① 主催者挨拶

両国を代表して御法川国土交通副大臣、宮本 JAIDA 会長、ダグマウィット・モゲス運輸大臣より挨拶を行いました。

<御法川国土交通副大臣の挨拶概要>

「今回、エチオピア政府のご尽力により、2回目となる官民インフラ会議を開催できたことに感謝。エチオピアへの更なる質の高いインフラ協力に関する覚書を締結できることをうれしく感じる。

2016年に官民一体となりアフリカにおけるインフラ整備を推進するアフリカ・インフラ協議会(JAIDA)を設立。エチオピアのさらなる経済発展や都市化の進展に対応するためのインフラ需要は強いものと認識。経済政策における国営事業の民営化やエリトリアとの国交正常化に伴った交通インフラの需要増大により、ビジネスチャンスが拡大することに期待。

日本の強みはTICAD7において提唱した「MADE WITH JAPAN」の理念の元、アフリカの皆様と一緒にあってインフラを整備し、加えて技術移転も進めることにあることから、この理念を貴国とも共有しインフラ整備を進めてまいりたい。

また、本会議では、「PPP」も主要なテーマであり、両国の政府機関・民間企業が力を合わせ、エチオピアにおける PPPプロジェクトの形成に向けて進む、大きな一歩になることを期待。今後も「改善(KAIZEN)」を続けていくことで、日・エチオピア両国によるプロジェクトが形成されることを祈念。」



官民インフラ会議での御法川副大臣挨拶

② 覚書署名式

御法川国交副大臣は、エチオピア運輸省及び都市開発・建設省との間でエチオピアにおける「質の高いインフラ整備」へ向けた協力に関する覚書に署名しました。



③ 基調講演

基調講演において、国土交通省の村川国際建設産業戦略官より「日本の質の高いインフラ整備」についてのプレゼンテーションが実施されました。

④ ワークショップ及びビジネスマッチング

国土交通省、エチオピア運輸省、都市開発・建設省、財務省、JICA等官民が「持続可能な発展のためのインフラ整備」「PPP」を主なテーマとして議論しました。また、ビジネスマッチングでは、日本企業と将来パートナーとなり得るエチオピア企業等との間で活発な情報交換が行われ、両国企業間で関係構築が行われました。

2. エチオピア共和国政府要人とのバイ会談(1月10日)

御法川国土交通副大臣は、ダグマウィット運輸大臣、ほか運輸国務大臣2名及びタゼル都市開発・建設国務大臣をはじめとする先方政府閣僚との会談を通じ、エチオピアと日本のインフラ分野におけるPPPを含めた包括的な連携を強化していくことで両国合意しました。

また、本会談には宮本会長、奥村代表をはじめとする全民間企業の代表者が参加し、各社企業アピールを実施することができました。



エチオピア政府要人とのバイ会談

3. その他(1月10日)

御法川国土交通副大臣は、2002年～2006年にエチオピアにて技術協力を実施したアテムガナ道路建設機械訓練センターを視察しました。視察にはヒウォット運輸国务大臣が同行され、直々に施設をご案内いただきました。日本からの技術協力が今でも現地のオペレーションで生き続けており、まさに「Made with Japan」を体現している現場であることを確認してきました。



ヒウォット運輸国务大臣に歓迎される御法川副大臣



アテムガナ道路機械訓練センター内を視察